

Y08a 仙台で行ったパークス 64m 電波望遠鏡の高校生対象の遠隔観測について
亀谷收, 縣秀彦 (国立天文台), 服部誠, 三澤浩昭 (東北大学), 小野寺正己, 亀谷光 (仙台市天文台), Robert Hollow, Ryan Shannon (CSIRO), 伊藤芳春 (聖和学園高校), 磯部欣一 (仙台第一高校)

PULSE@Parkes の活動は、オーストラリア国のオーストラリア連邦科学産業機構 (CSIRO) による Parkes 直径 64m 電波望遠鏡を遠隔操作してパルサーの観測を高校生たちに行わせる活動で、2007 年に開始し、これまで 1000 名以上の世界の高校生が参加している。この活動が 2013 年に引き続いて 2014 年も日本で行われた。2014 年 11 月に鹿児島大学、国立天文台三鷹、山形大学、仙台市天文台のそれぞれの場所で、開催された。本講演では、特に仙台市天文台で 11 月 16 日に行われた内容について詳しく報告する。

今回、仙台で行うに当たり、宮城県の高校だけでなく、参加者を広く呼び掛けたところ、25 名もの参加者が日本全国から集まった。去年の経験を踏まえて、開催方法について改良を加えた。昨年は、CSIRO スタッフによる英語の講義を理解できない生徒が多かったことを踏まえ、講義内容資料に日本語による訳を加え、講義時に日本語による訳と解説を同時に行った。更に、グループ分けには英語力と高校を分散させる配慮を行った。その結果、観測計画、観測、解析、成果発表のそれぞれについて、高校生が自主的に対応する事例がみられ、とても活発であった。

最後に、この活動は、豪日交流基金からの補助で実現した。今回の大学で天文学と関連分野を学ぶ多くの学生によるサポートにより、充実したものになった。今回の活動を実現するためにご助力下さった関係者の皆様に厚く感謝いたします。